

# 放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表日：令和4年3月15日 事業所名 スパークスタジオ県央

	チェック項目	はい	どちらとも いいえ	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標		チェック項目	はい	どちらとも いいえ	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標		チェック項目	はい	どちらとも いいえ	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標	
																					環境・ 体制 整備
環境・ 体制 整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5	0	0			適切な 支 援 の 提 供	16 支援終了後は、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	2	3	0	終礼時に事故報告やひやりはつとを含めた情報共有を行っています。	効率的に療育の振り返りのできる時間を検討し、次の療育に活かせるようにしています。	保 護 者 へ の 説 明 責 任 等	30 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5	0	0			
	2 職員の配置数は適切である	5	0	0				17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5	0	0				31 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	4	1	0	必要がある場合には面談を行っています。		
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	2	2	1	洗面所に行く途中のアプローチが靴下のままだと滑りやすい為、声掛けをしながら見守り支援を行っています。			18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	5	0	0	モニタリング会議を行い、該当者の目標、支援内容を評価し、見直しをしています。			32 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0	0	5		コロナ等の感染症の関係もあり、保護者会が行えない時に、保護者同士の連携を支援できる方法を考えていきたいと思っています。	
業務 改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参加している	3	2	0		評価、改善の時間を作り、目標を達成できるようにしていきます。	関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている	3	1	1		ガイドラインに記載されている「自立支援と日常生活の充実のための活動」「創作活動」「余暇の提供」を組み合わせさせて支援を行っています。	保 護 者 へ の 説 明 責 任 等	33 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	5	0	0	できるだけ素早い対応を心掛けています。		
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	4	1	0		保護者の意向を把握し、改善できるところから進めていきます。また、評価を受け必要ところは会議で話し合い業務改善に繋がっていきます。		20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参加している	5	0	0				34 定期的な会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	3	1	1	SNSを活用し、随時情報を発信しています。		
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	3	2	0		ホームページにて公表致します。また、ご利用者の皆様には文書で配布致します。		21 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	4	1	0	送迎を行っていない為、会議での情報共有を行っています。			35 個人情報に十分注意している	4	1	0			
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	2	1	2		今後第三者評価を実施したいと考えています。		22 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	3	1	1	相談支援専門員を通して情報の共有を図っています。			36 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5	0	0	スケジュール表、絵カードなどの視覚支援を行っています。		
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	4	1	0	スパーク運動療育のオンラインスキルアップ研修を実施しました。各委員会による内部研修を実施しました。			23 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	5	0	0	相談支援専門員を通して情報共有を行っています。			37 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	1	0	4			
	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	5	0	0		面談やサービス担当者会議の内容をもとに、個別支援計画を作成しています。		24 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	3	0	2	現在は該当者がいません。			38 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	2	2	1		今後、マニュアルを作成していきます。完成後、保護者に周知する予定です。	
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	5	0	0				25 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	4	1	0				39 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5	0	0	火災の避難訓練、不審者訓練、AED動画研修を行いました。		
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	5	0	0		職員で相談し立案しています。		26 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	0	2	3				40 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5	0	0			
適 切 な 支 援 の 提 供	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	4	1	0			27 (地域自立支援)協議会等積極的に参加している	2	1	2			41 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	5	0	0	相談支援専門員、保護者の方と相談し具体的な内容を決定し支援計画に記載しています。				
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	3	2	0		平日、休日、長期休暇に関係なく、年間を通して子ども達に合わせた療育内容で行っています。	28 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5	0	0	日々の療育内容を報告しています。また、モニタリング面談でも情報を共有しています。		42 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	3	1	1					
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成している	4	1	0			29 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	3	2	0	スケジュール表の作成を行っています。	保護者に療育に参加して頂いたり様子をお伝えしながら、家でも一緒に遊びを通して感情の発達を促せるようにしています。	43 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5	0	0	事故報告書、ヒヤリハット報告書の情報共有を行い、再発防止に努めています。				